

表面処理業、ものづくり中小企業の課題

第3回GX2040リーダーズパネル
日本電鍍工業株式会社
伊藤麻美

日本電鍍工業株式会社

会社設立 1958年

内 容 貴金属めっき及び各種電気めっき
無電解めっき
チタン・アルミの陽極酸化（アルマイト）
電着塗装

特 徴 一業種に依存しない多品種変量生産

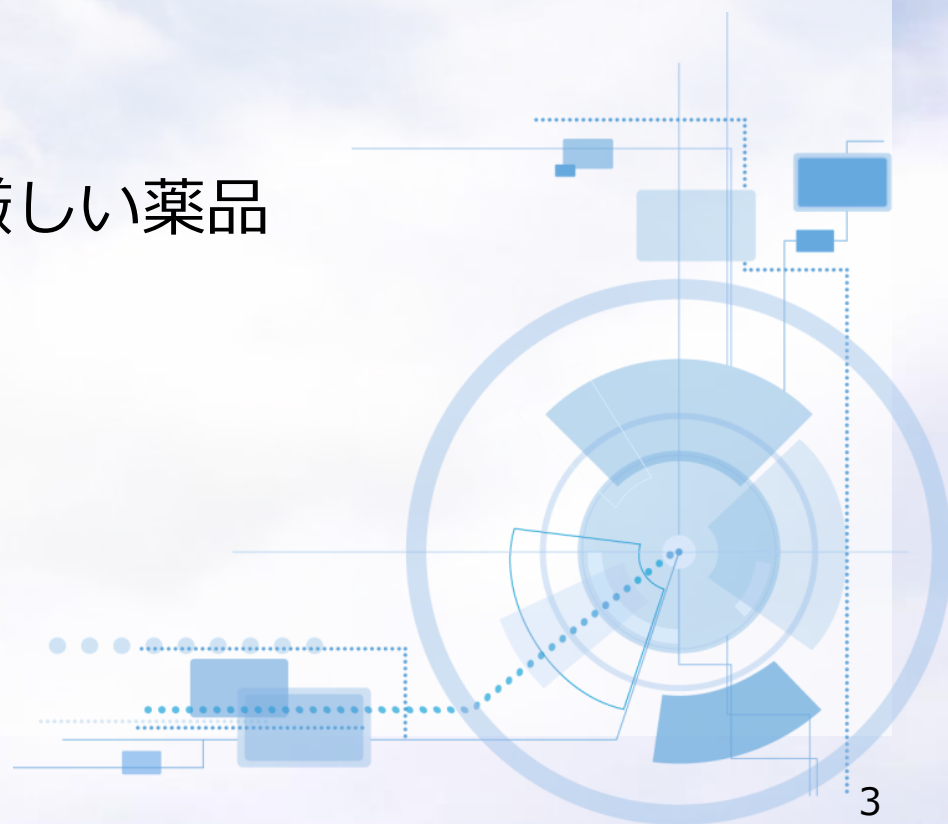
強 み 対応力に長けた人財



課題



1. 良い人財の確保が難しい
2. 土壌汚染対策法
3. 国内で安定的に確保するのは厳しい薬品
4. エネルギー価格と安定供給



1.良い人財の確保が難しい

良い人財とは
ビジョンをしっかり持ち、自ら考え行動できる人材。

現在の日本の教育は、イノベーションを起こすことができる
未来の宝をどれほど育てられているのでしょうか？

後継者不足により廃業を余儀なくされた会社は増加している。
我々の業界も平成以前では3000社以上あった企業が、
現在では1155社となっている。

2. 土壤汚染対策法

以前は何の規制もなく、廃棄できた薬品。
環境負荷を理由に急速な法改正により規制が厳しくなった。

めっき業界をはじめとする薬品を取り扱う会社の跡地は、
土地活用が難しいため、経済的な影響を及ぼしている。

3.国内で安定的に確保するのは厳しい薬品

環境問題などの影響により日本の産業構造は変わり続けている。
一部の産業だけではなく、
周辺のサプライチェーンにも大きな影響を及ぼす可能性がある。

産業の肝となる工程に必要な日本製の薬品などが、
もし国内で精製できない場合、我が国とは友好的ではない国から
輸入せざるを得なくなることを考慮しなければならない。

4.エネルギーの安定供給

安定的なエネルギー供給は、
国民の生活や経済成長において必要不可欠である。

2050年の「ネットゼロ」を実現させるため、資源の少ない我が国は
エネルギー源の多様化・分散化 = エネルギーミックスが求められる。

- ・ CO₂排出を抑える技術の改良 → 化石燃料使用時の環境負荷低減
- ・ 各企業の努力により、最新式の設備・装置は
「安全性」「省エネ」など様々な工夫が組み込まれている。
- ・ 原子力発電においても同様のことがいえる。
安全性の確保を高め、改修・新設により原子力発電の有効活用

企業の成長・発展 = 安定的なエネルギー供給の実現に繋がる

まとめ

人口の減少に伴い、多くの作業が人からシステムに移行しつつある。
AIやデータセンターが必要とするエネルギーは増えていく。

2050年のCarbon Neutral実現の為に、
様々な可能性にチャレンジする必要がある。

日本独自のエネルギーバランスやCO₂排出抑制技術を生み出す。

人財の育成や設備を完備するには時間が掛かる。

今の日本に足りないのは **“ スピード ”** です！

まとめ

エネルギーが安定的に供給されない国から企業は去っていく。

結果、日本の国力も低下していく。

日本をどのような国にしたいのか？

考えるときではなく、まず行動していくタイミングです。

“ スピード ” と “ ぶれない ” 強いリーダーシップを！